

# 図書館だより

## 第43号

今回は、市内各館の職員がおすすめの本を紹介します。

図書館だより第43号をお届けします。緑が丘のキャラクター「うさお」が2016年度図書館総合展における「図書館キャラクターグランプリ」の審査委員賞を受賞しました！これからも応援をよろしくお願いします。

今回は「うさお」の案内で、市内各館の職員がおすすめする本を紹介します。



### 『これからの「正義」の話しよう』



ハーバード大学教授のマイケル・サンデル氏の人気講義「Justice」を元にした本です。

「正義」という抽象的な理念を時事問題や架空の問題を例に、アリストテレス、カント、ベンサム、ロールズなどの古今の哲学者達の主張を通して、幸福、自由、美徳という3つのアプローチから考察していきます。

インターネットが普及し、多種多様な情報が溢れる現代社会において、生き残るために必要な「情報の本質を認識する力」を鍛える一冊です。

中央図書館

### 『阪急電車』



ローカル線を舞台に、いつも図書館で見かける気になる女性と隣り合わせた征志、ウエディングドレス姿で乗り込んだ翔子、孫の世話をよく頼まれる時江、彼氏に嫌われないようにいつもビクビクしているミサ、たまたま乗り合わせた車内の偶然の出来事からそれぞれの人生が交差し、新たに動き始めます。

笑いあり、胸キュンあり、みんな頑張っと思わずエールを送りたくなるそんな心温まる物語です。あなたは今度いつ電車に乗りますか？

大和田図書館

これからの  
「正義」の  
話をしよう  
いまを Justice  
生き延びる  
ための哲学  
マイケル・サンデル 著  
早川書房

『これからの「正義」  
の話しよう』  
マイケル・サンデル/著  
早川書房  
311.1/サ



『阪急電車』  
有川浩/著  
幻冬舎【幻冬舎文庫】  
B913.6/アリ



## 『名もなき風たち』

八千代市出身の作家、はらだみずきさんの人気作『サッカーボーイズ』の新シリーズが始まりました。

2011年4月、主人公・武井遼介は高校の強豪サッカー部に入部しました。東日本大震災のことや、チーム内でのポジションに悩みながら練習に励む日々。やがて、数少ない公式戦であるルーキーズ杯を迎えます。

これだけ読んでも楽しめますが、以前の作品と併せて読むとより楽しめると思います。この機会に読んでみてはいかがでしょうか。

八千代台図書館



## 『まあちゃんのすてきなエプロン』

まあちゃんは、ポケットがたくさんついたエプロンを、おかあさんに縫ってもらいました。ポケットには、それぞれ同じ色のハンカチが入っています。まあちゃんは、エプロンをしめて、おりょうりピクニックにでかけました。すると、こざるがポケットの赤いハンカチを見つけて、こっそり果物と交換しました。それから、こぎつね、こぶたも、ハンカチを見つけます。

\*「まあちゃん」シリーズ3作目です。親子と一緒に、繰り返し読んで楽しめます。

勝田台図書館



『名もなき風たち』  
はらだみずき/著  
株式会社 KADOKAWA  
913.6/ハラ



『まあちゃんのすてきなエプロン』  
たかどのほうこ/作  
福音館書店  
E/タ

## 『世界の建築・街並みガイド2 イギリス/アイルランド/北欧4国』



この本は世界の建築や街並みを豊富な写真で紹介するシリーズの一冊です。

先日私は北欧を旅したのですが、この本からは実物を目にする前の予備知識を得るだけでなく、「建築を見る」という旅のテーマに導いてくれました。また歴史的背景を知ることによって、いっそう昔の人の思いや足跡を辿ることができ心に強く残りました。

北欧を訪ねて一番感じたことは自然と建物、街並みの調和でした。伝統的な木造建築物は存在感がありますが、それらを包みこむ美しい自然と融合しているからでしょう。

歴史ある教会や大聖堂の建築物、古い街並みなどが、写真でわかりやすく説明されていて、これからイギリスや北欧に旅行をしようとする方にぴったりの本です。

緑が丘図書館



『世界の建築・街並みガイド2』  
渡邊研司 / 他編  
エクスナレッジ  
520.2/セ/2

編集後記：図書館では特色ある展示なども行っています。普段通っている図書館だけでなく他の館にも足を延ばしてみてください。新しい本との出会いがきっと待っていることでしょう。(S)

平成29年2月  
発行：八千代市立図書館  
編集：緑が丘図書館